

昭和女子大学文化史学会会則

(名称)

第一条 本会は昭和女子大学文化史学会と称し、事務局は昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科内に置く。

(目的)

第二条 本会は、文化の諸現象の史的考察を、さまざまな視点からおこなうことを目的とする。

(事業)

第三条 本会はその目的を達成するために、次の事業を行う。

(1) 紀要の発行

(2) 大会、研究会の開催

(3) 見学会、講習会、講演会等の開催

(4) その他の必要な事業

(会員)

第四条 本会は次の事項に該当する者をもって会員とする。

一、本学歴史文化学科の専任教員（第一号会員）

二、本学歴史文化学科の学生、大学院生（第二号会員）

三、本学教職員で所定の入会手続きをとった者（第三号会員）

四、本学学生・大学院生・研究生で所定の入会手続きをとった者

(第四号会員)

五、本学卒業生で所定の入会手続きをとった者（第五号会員）

六、その他所定の入会手続きをとった者（第六号会員）

(会費)

第五条 本会の会費は次の通りとする。

(1) 第一号会員 年額三〇〇〇円

(2) 第二号会員 年額一五〇〇円

(3) 第三号会員 年額三〇〇〇円

(4) 第四号会員 年額一五〇〇円

(5) 第五号会員 年額二〇〇〇円

(6) 第六号会員 年額三〇〇〇円

(会員の特典)

第六条 会員は紀要の配布を受け、これに投稿することができる。

また本会の催す各種の会合等に優先的に参加することができる。

(役員)

第七条 本会運営のために次の役員を置く。

(1) 会長 一名

(2) 運営委員 若干名

(3) 紀要編集委員 若干名

(4) 会計委員 二名

(役員を選出)

第八条 役員を選出は次の通りとする。

一、会長は、本学歴史文化学科長が兼務する。

二、運営委員は第一号会員の中から互選する。

三、紀要編集委員は第一号会員の中から互選する。

四、運営委員と紀要編集委員は兼任することができる。

五、会計委員のうち一名は運営委員の中から互選し、もう一名は紀要編集委員の中から互選する。

(役員の任期)

第九条 役員の任期は次の通りとする。

一、会長は、歴史文化学科長在任中とする。

二、運営委員、紀要編集委員、会計委員は二年とする。ただし再任は妨げない。

(最高議決機関)

第十条 第一号会員による会議を本会の最高議決機関とし、本会則の改正はこの会議の議決によるものとする。

(会計年度)

第十一条 本会の会計年度は、四月一日から翌年の三月三十一日までとする。

付則

一、本会の事務担当者を幹事と称し、本学歴史文化学科助手の中から、会長が委嘱する。

なお会長は、第二号及び第四号会員の中から、幹事の補助者(学生幹事と称する)を委嘱することができる。

二、本会への入会手続きおよび会費納入方法については別途定める。

三、本会則は平成十五年四月一日から施行する。

『昭和女子大学文化史研究』投稿規定

① 投稿資格は会員とします。

② 投稿は四〇〇字詰原稿用紙に換算して以下の枚数(図・表・注を含む)でお願いします。

論説(六〇枚以内) 研究ノート・資料紹介(三〇枚以内)

書評(一〇枚以内)

枚数をオーバーした場合は、その費用を著者に負担していただくことがあります。

投稿の際はフロッピーディスク(テキスト形式)を提出し、打ち出し原稿を添付して下さい。

③ 図版・写真(モノクロ)の掲載は五点までとします。五点を超えた分についてはその費用を著者に負担していただきます。

④ 投稿に際しては、八〇〇字程度の要旨を添付して下さい。なお、要旨は返却しません。

⑤ 投稿原稿には、英文の題名を添えて下さい。なお、論説に限り、二百ワードの外国語の要旨を付けることができます。

⑥ 掲載原稿の転載に関しては、必ず当学会の承諾を得て下さい。

⑦ 掲載原稿は、電子化およびインターネットでの公開を許諾したものと扱います。

なお、論文の採否・掲載順序等に関しては編集委員会にお委せ下さい。